

01 NEWS

内田農業振興会功労者表彰

11月20日、大國魂神社で（公財）内田農業振興会令和6年度功労者表彰式が行われました。同表彰は農業及び農業団体の発展や農業後継者の育成強化等に貢献し、その功績が高く評価された方々に贈られるものです。JAあきがわからは、2人の生産者が表彰されました。

浦野行光氏 緑綬功労章受章

多西地区の浦野行光さんは、中玉トマトや葉物野菜を主力に栽培し、全量をJAの直売所に出荷するなど、地産地消を貫き、地域農業の発展に精励しました。



緑綬功労賞
浦野 行光さん

馬場敏明氏 緑綬功労章受章

日の出地区の馬場敏明さんは、トマト・キュウリの施設園芸を牽引し、都指導農家士として農業者の育成に尽力するなど地域農業の発展に精励しました。



緑綬功労章
馬場 敏明さん

02 NEWS

日の出町園児ダイコン収穫

日の出町農業委員会は11月19日、同町役場の南側の畑で町内の保育園、幼稚園の園児を対象に、ダイコンの収穫体験を行いました。JAでは日の出支店が食農教育の一環として、12年前から種や肥料などの資材提供や、園児のサポートを行っています。

園児らは泥だらけになりながら、収穫を楽しみました。収穫したダイコンは園の給食や園児が各家庭に持ち帰り食べました。



ダイコンを収穫する園児ら

03 NEWS

直売所モニター 近隣直売所視察

11月19日、経済センター・直売所モニターによる近隣JAの直売所視察を行いました。8人のモニターが参加しました。

JA西東京のかすみ直売センターとJAにしたまの自然派やさしい直売所ベジ・ベジを視察しました。モニターからは「お昼前に行っても品数が多い。仕入れ品を増やしてはどうか」「目に入るPOPが分かりやすい」「惣菜や加工食品を増やし目立つ場所に置くとよい」など、JAあきがわの直売所の改善点として、さまざまな意見が寄せられました。



説明を聞くモニター

04 NEWS

廃棄ビニールプラ回収

11月26日、経済センターマイムで農業用廃棄ビニール、廃プラスチックを回収しました。管内の農家9戸から64袋を回収しました。JAの助成金等により生分解性マルチビニールが普及し、年々廃棄ビニールの回収量の減少につながっています。

今回から、組合員の要望に応え、回収品目に廃プラスチックを追加しました。持ち込んだ組合員は「大量に出る廃棄プラスチックの処理が一度にできてよかった」と話し、好評でした。



廃プラの回収

05 NEWS

女性部 手作りの正月飾りを販売

女性部戸倉支部は12月3日、五日市支店で手作りのお正月飾りを販売しました。お正月飾りは、11月下旬から稲わらはのかま取り、編み込み、仕上げの飾りつけなどの作業を3日間かけて行い完成させます。

材料となる稲わら、ダイイの代わりの松ぼっくり、松の葉などすべて地元で採れたものを使用します。紙垂、扇、水引も部員が手作りし、今年は60個を完成させました。事前の予約もあり、あっという間に完売しました。



完成した正月飾りと女性部員

06 NEWS

青壮年部 若手職員との意見交換

青壮年部は12月13日、JAの若手職員との意見交換会を初開催しました。この会は青壮年部員が、交流する機会の少ない若手職員に農業を知ってもらいたい、職員と一緒にJAのこれからについて話し合いたいとの思いから企画しました。青壮年部員12人、職員18人が参加し、「JAをよりよくするために」をテーマにディスカッションしました。参加した職員は「直接話を聞くことができ有意義でした。これからも交流を続けて、もっと農業について理解を深めていきたい」と話しました。



意見交換後の発表



07 NEWS

小学生作のPOPで野菜PR



日の出町ふれあい農産物直売所は12月15日、同町立本宿小学校3年生が作製した野菜のPOP(店内広告)を店内に掲示しました。POPは児童が社会の授業の一環で、野菜の食べ方や特徴をグループごとに調査し、まとめたものです。同町特産のトマトをはじめ、長ネギやサトイモ、キャベツなど冬野菜8種類9枚を掲示しました。

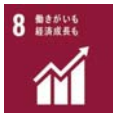
かわいい野菜の絵が目を引き、野菜をPRするための情報もたくさん書かれ、売り場を盛り上げました。



児童の作ったPOP

08 NEWS

日の出町農業担い手の会 竹林整備とメンマづくりをスタート



日の出町の若手農業者6人で組織する日の出町農業担い手の会は12月25日、竹林整備と幼竹のメンマづくりに向けてチッパーやなた、のこぎり、作業台などをそろえて、お披露目会を開きました。同会は農業を営む傍ら、農地保全や町民の住環境保全を目的に竹林の整備を始めました。幼竹はメンマに加工し、倒伏した枯竹はチップ化し土壌改良剤として使用します。JAはこの活動を応援しようと、JA東京グループ担い手協議会が実施する「農と地域の未来応援事業」の活用を提案し、整備に必要な農機具の購入をサポートしました。



担い手の会メンバー

09 NEWS

スイーツキャベツ糖度10以上



青壮年部は12月27日、本店で都西多摩農業改良普及センターの指導員と「スイーツキャベツ」の販売に向けて糖度検査を行いました。同部は2019年からスイーツキャベツの栽培に取り組んでいます。スイーツキャベツは都が認証するキャベツのブランド名です。

計測した全てのキャベツでBrix濃度糖度10以上を計測し、スイーツキャベツとして出荷基準をクリアしました。スイーツキャベツは、年内の糖度8.5以上、1月以降の糖度9以上で、形や色みが良いことが出荷条件です。



糖度を測る指導員

10 NEWS

相続・遺言セミナー開く



1月15日、五日市支店で五日市地区の組合員を対象に「相続・遺言セミナー」を開き14人が参加しました。

農中信託銀行財務コンサルタントの神谷宏一郎氏が講師を務め、「相続と遺言の基礎知識」をテーマに「現代相続事情」、「遺言の基礎知識」、「遺言が必要な場合」など7つの項目に分けて講義し、円満な相続に向けた遺言活用的重要性を伝えました。



セミナー受講者

11 NEWS

廃棄農薬回収



1月21日、管内3カ所の経済センターで登録失効・有効期限切れ農薬や農薬の空容器などを回収し、専門業者へ引き渡しました。管内の農家21戸から廃農薬と容器合わせて130・1キロを回収しました。

JAでは不要農薬などの管理や削減、産業廃棄物としての処分徹底のために年1回、回収しています。処分料は廃農薬1キロ当たり3300円を徴収し、回収に向けては、広報誌や各経済センターでポスターを掲示し周知しました。



廃農薬を量る職員



12 NEWS

女性部
盆踊り踊り方DVD作成

女性部は、毎年行われる健康づくり大会(盆踊り大会)で各支部の踊れる曲目を増やそうと、盆踊りの踊り方DVDを作成しました。

1月29日に、女性部役員を中心に18人が集まり、あきる野音頭や防災音頭など全16曲を順番に踊り撮影しました。DVDは曲のみが収録されたCDとセットで女性部の各支部に配布する他、希望する部員に販売しました。



完成したDVDセット

3

すべての人に健康と福祉を

13 NEWS

女性部 支部長・班長研修会

女性部は2月4日、支部長・班長研修会を開き部員50人が参加しました。今年は防火女性の会の研修と合同で実施しました。

午前中は立川防災館で火事や地震の災害体験と、倒壊した建物からの救出救助体験を行い、午後は東京消防庁航空隊でヘリコプター見学と、消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)の見学を行いました。盛りだくさんの内容で、災害時の対応や、備えについて学びました。



毛布一枚で担架を作る参加者

4

質の高い教育をみんなに

14 NEWS

装いフェスタ

2月13、14日に本店で、装いフェスタ2025を開きました。JA全農東京の協力のもと、東洋羽毛工業(株)の毛布や布団、(有)印伝の山本の財布や印鑑入れ、(株)帝國堂のジュエリー、化粧品、ウィッグなどを展示販売しました。会場の入口で行われた経済店舗で人気のエコープ商品の販売や、足ウラ測定無料体験会も好評で、2日間で約100人の来場者があり、盛況でした。



足ウラ測定会場

3

すべての人に健康と福祉を

15 NEWS

直売所母ちゃん研修会

直売所運営委員会は2月19日、女性の直売所出荷会員や会員の奥様方を対象とした「かあちゃん研修会」を開きました。千葉県の「JAグリーン館山」を訪れ、四季折々の切花を用途別に陳列する積極的な販売姿勢を学びました。

また、道の駅とみうら「枇杷(びわ)倶楽部」を訪れ、地場野菜の他、地元名産の落花生を使用したパンや総菜など、商品のラインナップやPOPなど陳列の工夫を学びました。



切花の荷姿を確認する参加者

4

質の高い教育をみんなに

16 NEWS

青壮年部人間ドック受診

青壮年部員7人は2月19日、JA東京厚生連の人間ドックを受診しました。青壮年部では初めての試みで、部員の健康管理意識を高めようと厚生連の担当者と一緒に1年前より企画し、休耕期の2月に受診できるよう手配しました。

参加した部員は、就農後は人間ドックを受診しておらず「受診して本当に良かった。健康で農業を続けるためにも継続して受診したい」と話しました。



人間ドックを受診した部員

3

すべての人に健康と福祉を

17 NEWS

女性部西秋留支部
西秋留まつり

女性部西秋留支部は2月19日、あきる野ルピアで西秋留まつりを開きました。部員と招待客60人が集まり、食事をしながら演芸ボランティア団体の「やすぎの会」の出し物を楽しみました。

食後は、部員や職員による踊りやダンスが披露され、最後は参加者全員で東京音頭など5曲を踊りました。



踊りを披露する女性部員

3

すべての人に健康と福祉を

18 NEWS

青壮年部 視察研修会

青壮年部は2月25、26日、あきる野市農業振興会後継者部と合同で視察研修会を開きました。部員ら11人が参加し、静岡県の(有)石井育種場を視察しました。石井育種場ではキャベツをメインに育種しており、直売所向けの生食で食味が良い品種や学校給食向けに重量があり加熱調理に向いている品種についてなど、キャベツの品種ごとの特性を学びました。



石井育種場で

12 つくる責任 つかう責任



19 NEWS

業種別機能別部会

3月7日、本店で業種別・機能別部会代表者会議を開きました。生産者部会をはじめとする全10部会が集まり、令和6年度の活動報告を行い、各部会活動の理解と発展について確認しました。



挨拶をする谷澤組合長

17 パートナリングで 目標を達成しよう



令和6年度 定年退職者

3月末日をもちまして、1名の職員が定年退職となりました。長年、組合員・地域の皆さま方にご指導いただき、誠にありがとうございました(役職は2月末時点)。

はま な たかはる
濱名 敬春

秋川ファーマーズセンター・
秋川経済センターマイム センター長
昭和63年 秋川農協入組
在職 37年



20 NEWS

あぐりスクール開校

3月15日、「令和7年あぐりスクール」の開校式を開きました。25(令和7)年は7家族30人で、11月まで計8回の開催を予定しています。
開校式で谷澤俊明組合長は「農作業を通じて農業に興味を持ち、JAについて学んで欲しい」と話しました。その後、参加者親子は、ジャガイモの植え付けとブロッコリーの収穫を行いました。次回は、4月にトウモロコシの種まきを行います。



ジャガイモを
植え付ける参加者

4 質の高い教育を
みんなに



令和7年度新入職員

フレッシュな仲間が加わりました！
よろしくお願いいたします。



こ やま しょうえい
小山 正栄

■所属先：東秋留支店
■趣味：野球観戦、散歩
■抱負：一日でも早く名前と顔を覚えてもらい、地域の皆様に貢献します。



しろ た りょうすけ
城田 凌介

■所属先：総務企画課
■趣味：ドラマ・映画鑑賞
■抱負：一日でも早く仕事を覚え、地域の皆様に頼られる職員になります。



やまぐち たい き
山口 大希

■所属先：日の出支店
■趣味：サッカー観戦
■抱負：笑顔を大切に、地域の皆様に寄り添える職員になります。